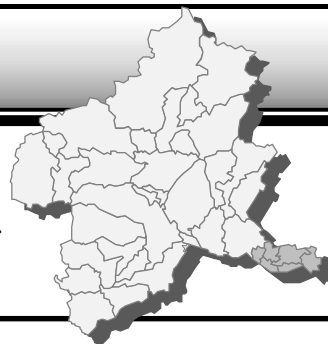


邑楽館林地域

邑楽館林地域は、全体がほぼ平坦地で、県内で最も東京に近い60～70km圏内に位置し、東北方面へのアクセスも良く、栃木・埼玉・茨城の各県とは、住民生活や産業面等で相互に深くつながっています。また、外国人住民の居住割合が高いことも、この地域の特徴です。



地域の優れた特性

- 栃木県南西部とは両毛地区として一体感があるほか、埼玉県や茨城県とも近く、県境を越えた交流が多くなっています。
- 東京圏からは東武鉄道や東北道・圏央道等の交通網でつながっており、製造業を中心に企業が進出しやすい立地条件にあります。
- 高速道路網が充実しており、食品企業等多くの企業が進出しています。

地域の現状と課題

- 河川氾濫から人命と財産を守るための取組が求められています。
- 利根川及び渡良瀬川などが氾濫した際には、地域のほぼ全域が浸水するとの想定がされており、市町村や県を越えた広域避難体制の構築が求められています。
- 豪雨時や地震時においても、円滑な避難や迅速な救命救助、復旧復興を可能にするための取組が求められています。
- 市街地を中心に交通渋滞が発生しており、市街地等の円滑な交通を確保し、県境を越えた周辺地域との連携強化を図るための取組が求められています。
- 既存の高速道路を有効活用し、物流の効率化や地域経済の活性化等を促進するための取組が求められています。
- 通学路の歩道整備率が県内の他地域に比べて低く、交通人身事故発生件数も多いことから、歩行者や自転車の安全な通行を確保するための取組が必要です。



県民の声

- 関東・東北豪雨における鬼怒川の決壊を踏まえ、水害対策を拡充してほしい。
- 大雨時の道路冠水の対策や、避難経路となる道路の整備を進めてほしい。
- 歩道が整備されていない通学路の歩道整備をしてほしい。
- 交通量が多く、渋滞している箇所対策をしてほしい。

地域の課題を解決するための主な取組方針

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

- ① 令和元年東日本台風と同規模の豪雨による水害リスクを軽減するため、一級河川谷田川の堤防強化等を推進します。
- ② 「人口や資産が集中する地域」において、浸水による社会経済の壊滅的な被害を回避するため、一級河川休泊川の河川改修等を推進します。
- ③ 利根川及び渡良瀬川などの広域的な氾濫時に迅速かつ的確な避難行動ができるよう、市町の広域避難計画作成を支援します。
- ④ 災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため、国道354号の電線共同溝等を推進します。

政策3 多様な移動手段の確保

- ① 市街地内の渋滞を解消するとともに、県境を越えた周辺地域との連携強化を図るため、地域の南北軸となる国道122号館林バイパスの整備等を推進します。
- ② 物流の効率化や地域経済の活性化、さらには利根川や渡良瀬川等における洪水時の広域避難体制構築に向け、東北自動車道の新たなスマートIC整備に向けた技術的な支援を行います。
- ③ 歩行者や自転車の安全な通行を確保するため、県道今泉館林線の歩道整備や県道綿貫篠塚線の電線共同溝の整備等を推進します。

※ 用語の意味については、P144～P151の用語解説をご覧ください。

主要事業一覧（邑楽館林地域）

1. 継続事業

政策		番号	事業名	所在地	完成予定
施策	目的				
政策1. 災害レジリエンスNo.1の実現					
施策1 緊急水害アクション （3か年緊急レジリエンス戦略） 施策2 重点水害アクション （5か年重点レジリエンス戦略） 施策3 防災インフラの整備 （中長期レジリエンス戦略）	令和元年東日本台風と同規模の豪雨による水害リスクを軽減するため	1	一級河川谷田川 堤防強化	板倉町海老瀬ほか	R2
	社会経済の壊滅的な被害を回避するため	2	一級河川林泊川(下流工区) 河川改修	大泉町西小泉～いずみ	R6
	水害リスクを軽減するため	3	一級河川多々良川 河川改修	邑楽町中野～石打	R8
		4	一級河川林泊川(上流工区) 河川改修	大泉町いずみ～太田市内ヶ島町	R11
		5	一級河川新堀川導水路 河川改修	明和町須賀～明和町入ヶ谷	R8
		6	一級河川新堀川 河川改修	館林市入ヶ谷町～邑楽町大字赤堀	R12以降
	災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため	7	国道354号(小桑原町工区) 電線共同溝	館林市小桑原町	R6
		8	国道354号(緑・美園町工区) 電線共同溝	館林市緑町	R7
政策2. 持続的で効率的なメンテナンス					
施策1 予防保全に基づく長寿命化	既存の社会資本の機能を維持させるため	9	県道矢島大泉線(谷田川橋) 老朽橋梁架替	館林市入ヶ谷町～明和町入ヶ谷	R7
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策2 自動車交通網の整備	周辺地域との連携強化を図るため	10	県道山王赤生田線(楠工区) バイパス整備	館林市楠町	R9
		11	国道122号(館林バイパス) バイパス整備	館林市北成島町～苗木町	R12以降
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	12	県道館林藤岡線(除川工区) 歩道整備	板倉町除川	R2
		13	県道足利館林線(高根工区) 歩道整備	館林市高根	R2
		14	県道麦倉川俣停車場線(中谷工区) 歩道整備	明和町中谷	R5
		15	県道今泉館林線(上江黒工区) 歩道整備	明和町上江黒	R5
		16	県道足利邑楽行田線(光善寺工区) 歩道整備	邑楽町光善寺	R5
		17	(都)中央通り線 歩道整備	館林市本町	R11
18	県道綿貫篠塚線(東小泉工区) 電線共同溝	大泉町東小泉	R7		

2. 令和6年度までに着手予定の事業

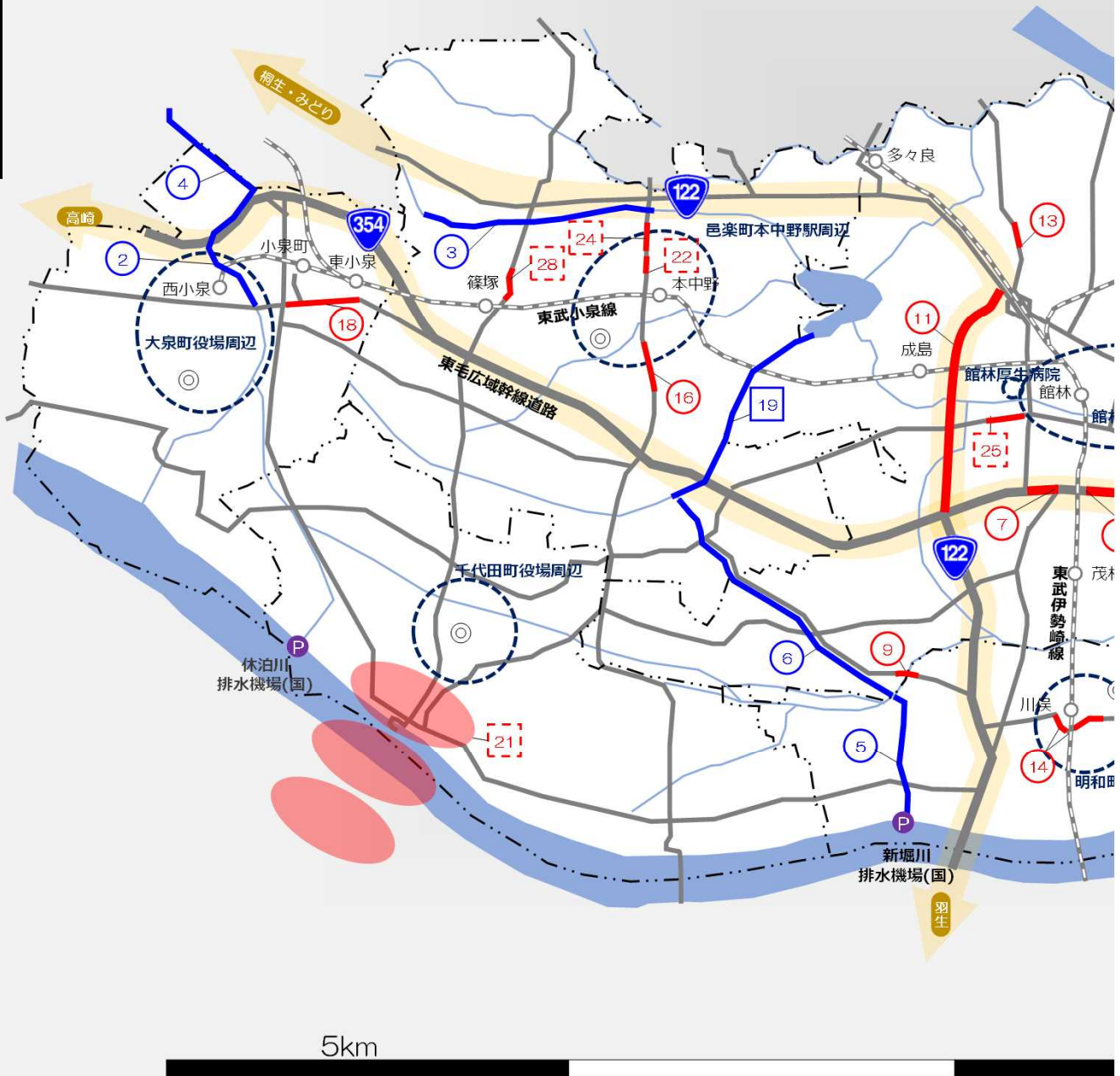
政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策1. 災害レジリエンスNo.1の実現					
施策3 防災インフラの整備 （中長期レジリエンス戦略）	水害リスクを軽減するため	19	一級河川逆川 河川改修	邑楽町大字赤堀～邑楽町鶉新田	
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	20	県道佐野行田線(大手町工区) 電線共同溝	館林市大手町	

3. 着手に向けて検討する事業

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策1. 災害レジリエンスNo.1の実現					
施策3 防災インフラの整備 （中長期レジリエンス戦略）	災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため	21	県道熊谷館林線(利根新橋赤岩渡船) バイパス整備	千代田町赤岩	
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策2 自動車交通網の整備	周辺地域との連携強化を図るため	22	県道足利邑楽行田線(中野上宿交差点) 交差点改良	邑楽町中野	
		23	県道山王赤生田線(楠2期工区) バイパス整備	館林市楠町	
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	24	県道足利邑楽行田線(中野工区) 歩道整備	邑楽町中野	
		25	県道古戸館林線(赤土工区) 歩道整備	館林市赤土	
		26	県道海老瀬飯野線(海老瀬工区) 歩道整備	板倉町海老瀬	
		27	県道除川板倉線(細谷工区) 歩道整備	板倉町細谷	
28	県道赤岩足利線(蛭沼工区) 歩道整備	邑楽町中野			

主要事業箇所図（邑楽館林地域）

第3部 地域計画編
邑楽館林地域



凡例

【事業分野区分】

- 道路事業
- 河川事業
- 砂防事業
- その他事業（下水・住宅・公共交通等）

【継続事業・着手予定事業の区分】

- 継続事業
- 令和6年度までに着手予定の事業
- 着手に向けて検討する事業

【その他】

- ▶ 地域の主要な道路ネットワーク(県管理道)
- ▶ // (高速道路)
- ▶ // (直轄国道)
- 地域の主要な拠点
- P 排水機場(国所管)
- P 排水機場(県所管)

